

平成 27 年 3 月 7 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究
－ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討－」

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

[研究の目的]

この研究では、すでに日本で腎性貧血の治療に広く使われている造血刺激因子製剤の1つ、「ダルベポエチン アルファ製剤」が効きにくい患者さん、つまり低反応性の患者さんについて、様々な情報を集め、その実態や、関連する要因について調べます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

登録期間に（～2016年9月30日）に同意いただいた患者様。

研究への参加期間は、参加登録されたときから最短で2年間、最長で4年間となります。

※ 詳細はお渡ししている説明書を御確認ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293